

指導の **ポイント**

指導事項の系統

【1・2年】読ア
時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。

【3・4年】読ア
段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。

チャレンジ
確認シート
(小3・4年)

H24A⑤ H27B② 設問1
H29A③ H30A③

「問い」と「答え」については、
東京書籍 p 43 (4年上)
光村図書 p 58 (3年上)
で学習しています。



学習指導要領解説では、1・2年生において、**文章全体に何が書かれているかの大体を捉え**、3・4年生では、**全体の中でその段落に何が書かれているのかを捉える力**を育成することが求められています。

この問題は、問いに対する答えとしてもっともふさわしい一文を選ぶというものでしたが、3・4年生の学習内容にもあるように、「段落相互の関係に着目すること」で、「問い」に対する「答え」の段落を捉える必要があります。その際、手がかりとなるのが「からです」の語句となります。「なぜ」の問いに対する答えとして「からです」の叙述に気付くことで、問いと答えという段落相互の関係を捉えることができます。

また、初めの五字という条件を満たしていないという誤答も見られ、この課題は、5年生1(1)でも見られました。

文章全体に何が書かれているかの大体を捉える1・2年生の学習を基礎として、段落相互の関係に着目しながら、内容を把握していく指導が大切です。

読むこと (説明的な文章)

第四学年

1 新聞係の山本さんは、「うめぼしのはたらき」という説明文を読んで、うめぼしのことを記事に書きました。

(2) ——— 線部ア「わたしたちは、なぜ、そんなにすっぱいうめぼしを食べるのでしょうか」とありますが、この問いに対する答えとしてもっともふさわしい一文を本文から選び、初めの五字を書きなさい。(句読点も一字と数える。)

〔正答〕
それは、う

〔誤答の傾向〕

- ・ 問いに対する答えを捉えることができていない。
- ・ うめぼしのはたらき(事例)が書かれた一文を選んでいない。
- ・ 一文の初めの五字という条件を満たしていない。

正答率	12.7%
無解答率	19.5%

読むこと (文学的な文章)

第四学年

3

(2) 「話し合いの部」の①、②、③にあてはまる登場人物の組み合わせをもっともふさわしいものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。ただし、同じ番号には同じ登場人物が入ります。

- | | | | |
|---|-------|--------|-------|
| 1 | ① わか者 | ② まつの木 | ③ とら |
| 2 | ① わか者 | ② 牛 | ③ とら |
| 3 | ① とら | ② まつの木 | ③ わか者 |
| 4 | ① とら | ② 牛 | ③ わか者 |

〔正答〕
2

〔誤答の傾向〕

- ・ 「いつもまじめでおちついている牛よ」という叙述を読み取れずに、②に「まつの木」があてはまると考えている。

正答率	45.5%
無解答率	5.4%

指導の **ポイント**

指導事項の系統

【1・2年】読イ
場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。

【3・4年】読イ
登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。

国語マスター
問題集
中学年 ②

チャレンジ確認シート
(小3・4年)
H23A⑦ H24A④
H27B③ 設問1
H28A⑥ R2 ③ 設問1



学習指導要領解説では、1・2年生において、「**誰が何をした、どのようなことを言った**」など、**登場人物の行動などを基に、内容の大体を捉えること**を学習しています。

また、3・4年生では、これらを受けて、**物語全体の登場人物の行動や気持ちを、叙述を基に捉えること**が示されています。

あらすじを捉えるためには、登場人物の行動や気持ちを、行動や会話、地の文などの叙述を丁寧に読み、捉えていく指導が求められます。

この問題では、登場人物の行動について叙述を基に捉えることに課題が見られました。「いつもまじめでおちついている」という叙述を手がかりに、登場人物を整理していく活動も考えられます。

「物語全体の登場人物の行動や気持ちを、叙述を基に捉えること」については、
東京書籍 (三下 p 59)
光村図書 (三上 p 28)
で学習しています。



指導事項の系統

【1・2年】書く
語と語や文と文との
続き方に注意しながら、
内容のまとまりが分かるよう
に書き表し方を工夫すること。

【3・4年】書く
自分の考えとそれを支える理由や事例との
関係を明確にして、書き表し方を
工夫すること。

【5・6年】書く
エ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、
事実と感想、意見とを区別して書いたりする
など、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、
自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

指導のポイント

国語
マスター問題集
中学年⑭
5年⑬

チャレンジ
確認シート
(小5・6年)
H21A⑧
H23B②
設問1, 2
H24B③
設問4
H27A④

仕事をしている人の
やる気を高めるという
よさもあるんだな。

理由
考え

コメントをいいた
けることがうれしくて、
これかともがんばろうと
うという気持ちになっ
てなっています。

3・4年生では、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確に書く前提として、自分の考えとそれを支える理由が妥当かどうかを確かめることが大切です。

それを受けて、5・6年生では、自分の考えが伝わるように、簡単に書く部分と詳しく書く部分を決めたり、事実と感想、意見とを区別して書いたり、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして書き表し方を工夫します。

その際、自分の考えたことが客観的な事象に裏付けられたものになっているかどうかを振り返りながら、自分の考えをより深めていくことにつながっていきます。

・中田さんの考えは書いているが、その理由を書けていない。

〈誤答の傾向〉

〔正答例〕
エ…仕事をしている人のやる気を高めるといいうよさもある
オ…買ってくれた人から、たくさんのコメントをいただけて、
これかともがんばろうという気持ちになっ
てなっています。

正答率	36.0%
無解答率	
	8.3%

〔条件〕
○「インタビュ」の言葉を使って書くこと。
○「エ」には、中田さんの思ったことを「インターネットは」から始まり、「」で終わる文で書くこと。
○「オ」には、その理由を「」で始まり、「」で終わる文で書くこと。
○「エ」には、その理由を「」で始まり、「」で終わる文で書くこと。

4 (5) 中田さんは、「インタビュ」から思ったこととして、「インターネットの活用について書くこととしています。」
オに入る内容を、次の「条件」に合わせて書きなさい。

☆☆☆単元構想のポイント☆☆☆

- ①学習指導要領（学習指導要領解説を含む。）を確認し、単元で身に付けさせたい資質・能力を明確にする。
- ②「めざす児童の姿」を具体的に設定する。
- ③指導事項に即した言語活動を設定する。
- ④低学年から系統立てた指導を行う。

例：5・6年書くこと オ 推敲

第1学年 及び第2学年	第3学年 及び第4学年	第5学年 及び第6学年	中学校第1学年
エ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。	エ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えること。	オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。	エ 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。

オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。
第3学年及び第4学年のエを受けて、文や文章を整えることを示している。
文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えるとは、ア、イ、ウ、エ、の指導事項を観点に、文や文章を推敲することである。第5学年及び第6学年においては、文章全体を見たときに、内容や表現に一貫性があるか、目的や意図に照らして適切な構成や記述になっているか、事実と感想、意見とが区別して書かれているか、引用の仕方、図表やグラフなどの用い方は適切かといったことなどが推敲の観点となる。

H29告示小学校学習指導要領解説 国語編

学習指導要領解説には、〔知識及び技能〕〔思考力、判断力、表現力等〕の指導事項と言語活動例のそれぞれに、指導内容が明確に示されています。

上の例は、5・6年B書くこと（1）オ推敲の内容です。どのような観点で推敲すればよいか明確に書かれています。それらを活用して、身に付けさせたい資質・能力を明確にし、めざす児童の姿を具体的に設定することが大切です。その上で、適切な言語活動を設定しましょう。

また、前学年でどのような学習をしているか、次の学年でどのように学習するかといった系統性を意識した指導も大切です。

言葉の特徴や使い方

正答率	52.5%
無解答率	0.5%

〈正答〉
1

4 3 2 1
高 読 加 最
低 書 入 多

2 (1) 「上の漢字が、下の漢字を修飾する関係にある組み合わせ」でできている熟語を、次の1〜4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

最多↓（最も多い）【上の漢字が下の漢字を修飾する関係にある組み合わせ】
加入↓（加わる・入る）【「」にた意味を表す漢字の組み合わせ】
読書↓（書を読む）【「」を「く」に「」に当たる意味の漢字が下に来る組み合わせ】
高低↓（高い・低い）【意味が対になる漢字の組み合わせ】

指導のポイント

熟語の指導は、教科書の小単元で扱うことになっています。熟語を構成する漢字の意味を考えることで、熟語の意味が明らかになることがあります。

また、全国学力・学習状況調査でも、修飾語を扱った問題に課題が見られました。今回の問題でも修飾という意味が理解できていない可能性があります。

「熟語」「修飾語」など、教科書の小単元で扱うような内容は、機会を捉え、繰り返し指導していくことで定着を図ります。

